（昭和五年三月廿一日第三種郵便物認可）　昭和十五年七月十三日　新いわき　【土曜日】　第二千九百六十三號　【一】

七月十二日　夕刊

毎日夕刊を發し日曜祭日翌日休刊
一部売　十五錢　一ヶ月　二十五圓　二百二錢
廣告料　番号付六　一行四十錢　二十錢以上
編輯兼發行人　印刷人　牛谷政喜
發行所　福島縣平市大字平字七三番地　新いわき新聞社

空襲に要意はよいか
明日からの防空訓練
第一期二日第二期の三日を經て
宛ら實戰に入る第三期

濱通り方部の第二次防空訓練は愈よ明十三日から實施される同訓練は十三、四兩日を第一期としてこれが準備に入り廣告、看板、裝飾、門軒燈及び鐵柱街燈等管制を發せられると同時に公共用は市に於て個有は各戸に於て全部消燈することになつてゐるのみで畫間には行はれず十五日から十七日に及ぶ第二期の三日間は警報傳達、警戒管制、交通整理等の訓練並に同期最終の十七日には平署長想定の下に施行される消防の基本訓練に家庭防空群の出動を加へられ

第三期に移る十八、九兩日に至つて各種防護動作の全部に及ぶ左記を實施されるが畫となく夜となく發せられる空襲警報下に警戒管制は十五日の發令から十九日の解除まで通じて行はれるなかに燈火管制を徹底的に訓練づけることになつてゐる、なほ今次の待避は狀況現示班から發せられる傳達と同時に十分間また飛行機の飛來には爆音を聞くと同時に十分間（一切の歩を停めて掩護下に身を入れる）次へで家庭防空群は從來空襲と共に各戸一名軒に出で空の看守をなせるものを群内に防護看守所を設けて三十分交替に一名づゝ看守に當り他は夫々業に携はることになつてゐるもので軒場に要意する水は五斗五升、砂は二斗五升以上、訓練開始は十三日午前九時からである

▲第三期訓練　警報傳達　燈火管制　交通整理　待避　避難　警防團　自衛團　家庭防空群の在らゆる防護訓練を行ふ

石城郡の最優良駒
一頭（牝）一千十圓
桶賣市場の一八二頭中から
總額は七萬九百五十圓

石城産馬の川前村桶賣市場の駒羅は去る九日、十日の兩日第三區（上小川）第四區（川前）の兩區の全頭を行はれた同郡産駒の羅市はこれで終了だが同市場は郡産駒最高の高値で出駒二一四頭の總額七萬九百五十一四、平均三百卅一四五十四錢に上り最高千十四、最低百十五圓であつたが前記兩區別の市況を上げると左記の如くである

▲第三區牝十八頭、總額五六八三圓、平均三一五圓七二（最高四五〇圓、最低一七〇圓）牡一四頭、總額三三一五圓、平均二三六圓七八（最高三四五圓、最低一二二圓）計三二頭、總額八九九八圓、平均二八一圓一八錢（最高四五〇圓、最低一二二圓）

▲第四區牝九六頭、總額二三八五八圓、平均三五二圓六八（最高一〇一〇圓、最低一五八圓）牡八六頭、總額二八〇九五圓、平均三二六圓六八（最高五二〇圓、最低一一五圓）計一八二頭、總額六一九五三圓、平均三四〇圓四〇（最高一〇一〇圓、最低一一五圓）

平市在鄕軍人聯合
分會長の滿期改選
藤田榮助氏に再選の模樣

平市鄕軍聯合分會では來る二十二日滿期となる會長の改選に其の人を畫かれてゐるが現分會長藤田榮助氏は特に今次の事變以來同會の爲め身をもつてこれにあたり銃後諸般に亘つての功勞尠なからず大勢から再選を望まれてゐるもののなかに寧ろ分會以外から兎角の風說を産ましめ後任に菊地軍醫大佐または藤井一少尉を語るものあるも遞信診療所に奉職する菊地大佐は公務をもつて某地に移る意圖があり藤井氏もまた自ら藤田氏を推してゐるので巷間傳へられるが如き競爭がありそうでなく殊に自肅の範を垂るべき同會は極めて平穏に藤田氏の再選を決せられるものと見られてゐる

支那軍語

交際上で他に贈りものをする場合の如き「これは粗末なものですがどうぞお收め下さい」と云ふ樣なことは這點兒落禮請悠收下でチエーティエルバオリーチンニンシオウシアと云

精神興揚
國民百人一首（1）
白沙村人編

書架を整理して不圖こんなものを見出した、それは現代畫壇の巨匠橋本關雪畫伯が選集印刷したものを森下博氏が複刻頒布したもので其編輯と頒布の理由は畫伯の序文と森下氏の虔呈の辭で明瞭であるから兩ながら採錄することにした、（紙上質問に御答へ致します）

書藥に代へて

幼少の頃早く母に別れた私は多く祖母の懷に抱かれて成長した。祖母、名はまさ、姓は山ノ内、全藩、家は儒をもつて業として居た。その兄眞陽は天誅組に加はり、藤本鐵石杉本圭堂等と交り善く、未だ事を擧げざるに先立ち病死した。祖父文水翁の季弟浦井香園翁が生前私に「眞陽が死んだ時杉本圭堂が來て其墓前に詣で、片目から…泪を流し恰も生ける者に話す如く何事をか云つた姿は今でも見るが如くである」と語られた、またその時次弟の杉村如屏翁が圭堂に向つて子弟の敎育に關し訊ねたに對し「敵に失しても寛に失する勿れ」と答へたと云ふこの事は數年前如屏翁の遺兒杉村松年から聞いた話である私の少年の頃父の神戸の家のフスマに津之助…藤本鐵石の通稱…と署名された手紙が幾枚も張られてあつたことを覺へて居る。祖母は私に添寢しながら、よく唐詩選とか、論語の素讀、または先人の和歌などを節づけながら諳誦して聞かした。數年前久留米に遊んだ時、土地の通照院にある高山彦九郎の墓に詣でた。その時ふと東久世伯の書かれた彦九郎の歌碑を見あげながら祖母が私に讀み聞かしてくれた彦九郎の歌を何十年目かに突然思ひ出したのである。歌碑に書ゝれたものは

われをわれとしろしめすかやすめらぎの玉の御聲のかゝるうれしさ

となつて居る。祖母の讀んで聞かしてくれたものは「われを人としろしめすかや」とあつたことは頭髮半ば白くなつて居る今日でも忘れずに覺えてゐる。再び久留米に遊んだ時土地の人から此の歌を反問され、ふと調べて見る氣になつて居る。祖母の讀んだ

たえず吹しあらしの風のはげしきになにたまるべき木々の白露

と云ふ歌でも一本には

つよく吹くあらしの風のはげしきになにたまるべき草の上の露

となつて居る、かくの如き例は和歌に往々あることである

戰地の便り
平方部の戸籍研究會
十六日平市で

平方部の戸籍事務研究會では來る八月平市公會堂に於て開催される縣下戸籍事務聯合協議會に對する提出事項その他につき來る十六日午前十時から市會議事堂に於て研究協議をなす

弟も檢査合格の由
元氣で入營する樣

平市紺屋町出身　松田榮

亂文にて御免下さい、奈も早や過ぎて初夏の候と相成り日增しに暑さ加はり草木の茂りも深く相成りました曠野の青さが日一日と擴がり雪解けの水が山野を潤つて樹木の若葉の綠濃くなるところ全くよい氣持ちであります、其の後皆々樣には御變り御座いませんか小兵相變らず元氣にて軍務に精勵いたし居りますれば何卒御安神下さい、弟も檢査に合格の由嬉しいことであらう充分に心身を練つて入隊されるやう祈つてゐます、まだ兵科はわからぬでせうが判りましたら御知らせ下さい、兄さんも元氣でせうね、御兩親樣の丈夫なことは何よりです、小兵も歸れそうな噂があつたが實現しそうもありません、軍隊のことは簡單には參りません

慰問袋嬉しく頂戴

平市新川町出身　佐藤良吉

拜啓、逐日嚴暑加はる折柄皆々樣には御健康に渉せられ居ること、相察いたします、不肖も御蔭樣にて至極元氣で軍務に奮闘いたし居ります、扨て此の度は鄕土味あふるゝ慰問袋を御送り下され有難くまた嬉しく頂きました、厚く御禮申上げます、明日からの原動力が一しほ注入されました、重責を全ふすべく滅死奉公致します、皆々樣の御健勝と鄕土平市の隆昌發展を御祈り申上ます、　敬具

兄さんに早くよい嫁さんを見つけて下さい、何時もながら寸狀御知らせのみ早々

前科男泥を吐く

埼玉縣所澤町生れ窃盗前科三犯石田久治（三七）は去る九日夜小名濱町を徘徊中擧動不審で平署に檢擧取調べの結果去る六月中旬小名濱町陣屋永瀬秀藏方から前後三回に衣類、洋服二十數點價七百圓の外豊間町大敬漁業に働くと詐り支度金五十圓を騙つたことを自供した

出廻る石城の桃

石城産の桃は早生「魁」から出廻り初めたが今年は出來も惡くなく相場は一貫目一圓二、三十錢でどん〳〵賣れてゐる次は「天津」だがこれも發育が良好である

植田町の郵便局に落雷

昨十日午後六時頃

昨十日夕に於ける石城地方の雷鳴は同郡南が殊に烈しく午後六時頃の豪雨のなかに植田郵便局に落雷して電信受信機その他を破壞した幸ひに負傷者はなかつたが同方部には此ほか數ヶ所にも落雷した、また田人村方部には小豆大の降雹があり蒸煙草、野菜類を荒されたが損害調査中である

産馬組合賞を國防献金する

川前の猪狩つなさん

石城郡川前村の下桶賣字谷田谷地四三猪狩つなさんは郡下最優良牝馬を出だして桶賣市場で千十圓の高價に賣れた産馬組合賞金七圓を其まゝ國防献金した

矯風會國防献金

小名濱町の矯風會支部では金七圓五十二錢の國防献金を昨十一日平署に寄託した

商組の大倉庫

小名濱町で

小名濱町の商業組合では常磐線泉驛から同町に通ずる臨港鐵道前の海岸埋立地二百七十坪の大倉庫を建設することに決し縣に申請した

植田署で賄徒の掃蕩

錦町ペンキ職今出長太郎（四七）方に於ける麻雀賭賭は既報したが植田署では六日同賭賭を檢擧以來賭徒の掃蕩に手を染め勿來町の大高前科一犯小野一郎（三三）田人村の黑田前科一犯蛭田直治（三四）ほか二十四名が去る十日の白盆錦町との境界山中で一回一圓乃至五圓かけの花賭賭開帳に踏込み一網打盡し更に十一日は勿來町から一味六名を檢擧し同署では目下四十六名を取調中である

農業

雪がれたる蜜蜂の汚名

（中）

作物を害する處かむしろ必要である

前回に述べたものに次では引續く昨十四年九月からプラシカ・キャンベストリスに屬する千葉早生一號についての試驗でそれは、

昨年九月から着手した千葉早生一號の試驗は苗を凝灰質腐植壤土の畑に移植し肥料は施用量の正確を期するため化學肥料のみを使用、一株當りの施用量を硫酸アンモニヤ十二グラム、過燐酸石灰十二・八グラム、硫酸加里五・二グラムとして主成分は窒素、燐酸、加里各二・五グラムに當つてゐる、栽培距離は面積五三・二平方メートルの畑に三株づゝ三列に九株を栽植し、そのうち中間の三株は概ゞ同等の第一次分枝八本を育成した、開花に先き立ち畑の周圍に高さ三米の丸太枠をつくり、二ミリ目の金網をもつてこれを被ひ、更に中間列の三株より生じたる第一次分枝八本のうち四本づゝを二分し、寒冷紗で蜜蜂だけの訪問を行ふ有蜂區と全く蜜蜂その他昆虫類の來訪を遮斷した無蜂區とに分けた、

その菜種は本年四月四日開花を見たが翌五日から有蜂區内に蜂數一萬千三百匹、蜂兒數六千七百四十匹の蜂群を飼育し、その開花期間中授粉を媒助させたのである、開花終りは五月七日であつたがその間降雨の五日間を除いての蜂群は次回の如くである、

スペインGHNF元詰
ゴルフポートワイン
甘味葡萄酒
婦人の方には少し水を加へて召し上るとお風味一そう佳良です
（三電）（平二）西村屋藥舗

肋膜・氣管支・關節・神經痛・肺炎・ロイマチス・扁桃線・中耳炎・骨膜・腰痛ぢ疾に…
漢方藥の生命線
斯り藥…濃布で各藥
藥價 九十五錢 二圓二十錢 四圓
磐城郡平市五丁目角 山野邊藥局
新治淋藥 六〇七號

附屬産院 新設
妊産婦入院隨意
産科 婦人科
木村病院
平市新川町 電話一六四番

診療科目
一、齒科一般
保存科、補綴科、繼續架工科、齒列矯正科、小兒科、齒槽膿漏科、
一、口腔外科
一、レントゲン科
平市田町（松月堂向ヒ）
中野齒科醫院 電話五〇九番
院長 日本齒科醫學士 中野悉次
日大醫學士 鹽谷伍郎
主任 佐藤重義

醤油、味噌、たひら正宗、鰹節食料品
お醤油は……ヤマフル
塩屋 山崎合名會社 電話 營業部一〇番 本店二七〇番
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

ミクロゼ
胃腸強生
酵母劑の上を行く
ホシチエーンストアー
星製藥株式會社福島縣支部
ホシ藥舗（平市3ノ30 電話429番）
製劑する際に死滅し易い酵母と異り・ミクローゼの主成分である日本固有のビルツは・生存力が極めて强く・服用後・胃腸内でどんどん增殖し・强力な消化酵素を産生する特徴を有して居ります。——故に・効果は持續的・且つ强力であります。何よりの證據は・食慾が增し・快い便通が得られることです。
郵券十錢で・五日分六十錢の試服藥を急送す
星チエーンストア支部
東京・五反田 星製藥株式會社
全國各地藥店に有

根本産婦人科醫院
平市南町
根本莊次郎
根本貞雄
（入院隨時）
電話三四番

和洋銅鐵、金物問屋
玉屋商店
電九・九九

債券、公債、両替、金融
多田井貸店
平市大工町 電話五九一番

便利で經濟な日下家政婦會の派出婦を御利用下さい
身元確かで品行方正ですから何をお任せしてもご安心です
平市一丁目三十一番地（電話七二三番）
日下家政婦會 會長 日下すい子
會員同志の御加入（派出なき閑暇に裁縫や編物をお教授致します）を御誘ひ致します